

- 問1 北緯30度から45度の範囲には、日本の本州の大部分が含まれます。世界地図において、この日本と同じ緯度帯に位置する国のうち、アジア大陸の西端にあり、ヨーロッパとアジアの両方の文化が混ざり合う「結節点」としての役割を果たしている国を選びなさい。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. エジプト 2. オーストラリア 3. トルコ 4. アメリカ合衆国
- 問2 トルコの産業と貿易の特色について、その背景を含めて説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥帯を利用した小麦の企業的穀物農業が盛んであり、農産物が輸出額の過半数を占めている。
2. 豊富な石油資源の輸出に依存した経済構造を持っており、輸出相手国は主にアメリカや中国である。
3. アジアとヨーロッパの接点という立地を活かし、ドイツなどの欧州諸国を主要な市場として自動車や機械類を輸出している。
4. 天然ガスのパイプラインの起点として、ロシアなどの近隣諸国へエネルギー資源を供給することが貿易の柱となっている。
- 問3 サウジアラビアなどの産油国における経済統計を確認すると、原油価格が1バレルあたり94ドルと高値であった2008年には、国内総生産（GDP）も2081億ドルと高い水準にありました。しかし、価格が61ドルにまで落ち込んだ2009年には、GDPも1695億ドルへと減少しています。このような統計から読み取れる、産油国の経済の特徴として適切なものはどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 原油価格の下落は、国内の消費を刺激するため国内総生産を押し上げる要因となる
2. 製造業が高度に発達しているため、原油価格が変動しても国内総生産は一定である
3. 国内総生産の規模は、原油価格の推移とは逆の方向に動く性質を持っている
4. 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある
- 問4 東南アジアに位置するマレーシアは、古くからの先住民やマレー系のほかに、歴史的な経緯から中国やインドなどから移り住んだ人々が共に生活しています。このように、異なる言語、宗教、文化を持つ複数の民族によって構成されている国家の形態を何と呼びますか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 単一民族国家 2. 都市国家 3. 君主制国家 4. 多民族国家
- 問5 中国の人口統計において、一定の面積（1平方キロメートル）あたりに居住する人口の数を示す数値を比較したとき、山東省などの沿岸部と、甘粛省などの内陸部の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 人口増加率は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。
2. 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。
3. 人口密度は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。
4. 人口密度は中国全土で均一であり、省ごとの地理的条件による差はほとんど見られない。
- 問6 主に仏教を信仰しているタイの人々の日常生活で見られる行動として、最も適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 朝の託鉢の際に、僧侶へ食料や日用品を寄付（布施）する。
2. 聖なる川とされるガンジス川に入って沐浴を行う。
3. 日々の生活の中でキリスト教の聖書を読むことを大切にする。
4. 聖地メッカのある方向に向かって、1日に5回お祈りをする。
- 問7 インドシナ半島の中央部に位置するある国では、工業化の進展に伴い貿易の構造が大きく変化しました。2013年の統計において、機械類の輸出額が約668億ドル、自動車の輸出額が約259億ドルに達し、これらが主要な輸出項目となっている国はどこですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. フィリピン 2. ベトナム 3. マレーシア 4. タイ
- 問8 サウジアラビアなどが位置する西アジア地域では、その自然環境に適応した独自の食文化が見られます。この地域の自然環境と食生活の特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 季節風の影響を避けるために乾燥した高地で生活しており、寒冷な気候に強い豚肉の加工品が主なタンパク源となっている。
2. 乾燥帯に属し降水量が少ないため、広大な土地を利用した放牧が行われ、羊やラクダの肉を焼いた料理などが食べられている。
3. 地中海性気候の影響で夏に雨が多いため、稲作と並行してラクダの飼育が行われ、米と肉を組み合わせた料理が発達した。
4. 温暖湿潤気候に属しているため、一年を通じて豊富な水を利用した淡水魚の養殖と、それを用いた魚料理が主食となっている。
- 問9 東南アジアのマレーシアでは、1980年代には原油などの天然資源が輸出の中心でしたが、2022年の統計では機械類の割合が42.1%を占めるまでに成長しています。このようなマレーシアの輸出構造の変化について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. ゴムやスズといった特定の農産物や鉱産資源のみの輸出に頼るモノカルチャー経済がさらに強化された。
2. 工業化による環境負荷を抑えるため、機械類の輸出を制限し、再び石油や天然ガスの輸出割合を上昇させた。
3. 天然資源への依存から脱却し、機械類などの工業製品の輸出を拡大させることで産業の高度化が進んだ。
4. 国内での消費を優先させる政策をとったため、工業製品の輸出が滞り、輸出総額が1980年代よりも減少した。
- 問10 アジア大陸の沿岸部から島嶼部にかけて、他の大陸と比較して圧倒的に多くの稲作地帯が広がっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥地帯が広がっており、地下水を利用した大規模な灌漑農業が行いやすいため
2. 大規模な機械化農業が容易な平坦な土地が多いため、小麦の栽培よりも生産効率が高いため
3. 一年を通じて冷涼な気候が続くため、病害虫の被害を受けにくく米の長期保存に適しているため
4. 夏の季節風の影響で高温多湿になり、水田稲作に適した気候条件が整っているため
- 問11 2000年代初頭のベトナムにおいて、輸出額で上位に位置していた「魚介類」の生産や輸出の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 重工業化政策の推進により、鉄鋼や機械類の輸出が急増したため、水産物の輸出割合は極めて低くなった。
2. 内陸部の冷涼な気候を利用して、サケやマスなどの淡水魚を大規模に養殖し、ヨーロッパへ輸出している。
3. 伝統的な沿岸漁業が中心であり、冷凍技術や加工技術が未発達なため、生魚の状態での輸出に限定されている。
4. メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。
- 問12 1980年から2015年にかけての韓国の輸出の変化について、その特徴を説明した文として正しいものを、品目の構成や輸出額の推移に着目して選んでください。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 衣類やせいの品の輸出割合は拡大し続け、2010年代に入っても軽工業が経済成長を支えている。
2. 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。
3. 工業化を断念し、精密機械や自動車などの輸入を増やすことで内需主導の経済へと変化した。
4. 船舶の輸出が大幅に減少したことを受けて、現在は石油製品の輸出が最も多くなっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 トルコ	トルコは北緯36度から42度付近に位置しており、日本の本州とほぼ同じ緯度帯にある西アジアの国です。ボスボラス海峡を境にアジア側とヨーロッパ側にまたがっており、歴史的にも東西の交通・文化が交差する重要な地点となっています。エジプトはより低緯度の北アフリカ、アメリカ合衆国は北アメリカ、オーストラリアは南半球に位置するため、条件に合致しません。
問2	答え 3 アジアとヨーロッパの接点という立地を活かし、ドイツなどの欧州諸国を主要な市場として自動車や機械類を輸出している。	トルコは西アジアの中でも工業化が進んだ国であり、特に欧州連合（EU）諸国との関わりが深く、自動車や機械、繊維製品などを広く輸出しています。石油資源に頼る周辺の西アジア諸国（産油国）とは異なり、製造業が産業の中心となっている点が大きな特徴です。
問3	答え 4 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある	サウジアラビアのように輸出の大部分を原油に依存している国では、国際的な資源価格の動向が国家の経済規模に直結します。提示された数値の通り、原油価格の上昇に合わせて国内総生産（GDP）が増加し、価格の下落とともにGDPも減少するという、両者の間に強い相関関係が見られるのが特徴です。
問4	答え 4 多民族国家	マレーシアは、人口の約6割を占めるマレー系のほか、中国系（華人）やインド系の人々が共生する国です。それぞれの民族がイスラム教、仏教、ヒンドゥー教などの異なる宗教を信仰し、独自の文化を維持しながら社会を構成しているため、多民族国家の代表的な例として知られています。
問5	答え 2 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。	一定の面積あたりの居住者数を人口密度と呼びます。中国の人口分布は非常に偏っており、降水量が多く平地に恵まれた東側の沿岸部（山東省など）では人口密度が高く、乾燥した砂漠や高地が広がる西側の内陸部（甘粛省など）では人口密度が低くなっています。これは自然環境の差に加えて、経済的な発展状況の差が大きく影響しています。
問6	答え 1 朝の託鉢の際に、僧侶へ食料や日用品を寄付（布施）する。	仏教が深く根付いているタイでは、朝の託鉢の際に僧侶へ食料や日用品などを寄付（布施）する光景が一般的です。なお、メッカの方向へのお祈りはイスラム教、聖書を読むことはキリスト教、ガンジス川での沐浴はヒンドゥー教の特徴的な文化となります。
問7	答え 4 タイ	タイは1980年代後半から、日本などの外資系企業の工場を積極的に誘致することで急速な工業化を遂げました。かつては米などの農産物や魚介類、木材の輸出が中心でしたが、現在は「アジアのデトロイト」と呼ばれるほど自動車産業が盛んになり、機械類や自動車が輸出の上位を占めるようになっていきます。
問8	答え 2 乾燥帯に属し降水量が少ないため、広大な土地を利用した放牧が行われ、羊やラクダの肉を焼いた料理などが食べられている。	サウジアラビアを含む西アジアの大部分は、年間降水量が極めて少ない乾燥帯に属しています。農耕に十分な水が得られない地域が多いため、厳しい環境でも飼育できる羊やラクダを連れた遊牧や放牧が伝統的に行われてきました。その結果、これらの肉を焼いて食べる食文化が定着しました。なお、この地域に多いイスラム教徒の間では豚肉を食べることが禁じられているため、豚肉が主食となることはありません。
問9	答え 3 天然資源への依存から脱却し、機械類などの工業製品の輸出を拡大させることで産業の高度化が進んだ。	マレーシアなどの東南アジア諸国では、かつて特定の農産物や資源の輸出に頼るモノカルチャー経済が中心でしたが、外資の導入などを通じて工業化を推し進めました。その結果、1980年代と比較して、現在では機械類をはじめとする工業製品が輸出の大きな割合を占めるようになり、産業構造が高度化しています。輸出総額も、経済成長に伴って大幅に拡大しているのが一般的です。
問10	答え 4 夏の季節風の影響で高温多湿になり、水田稲作に適した気候条件が整っているため	稲作、特に水田稲作には大量の水と高い気温が必要です。アジアの東部から南部にかけては、夏に海から吹き込む季節風（モンスーン）によって高温多湿な環境が作られるため、稲作に非常に適しています。米は単位面積あたりの収穫量が多く、多くの人口を養うことができるため、アジアの人口密度の高さとも密接に関係しています。
問11	答え 4 メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。	ベトナムの輸出用水産物、特にエビの生産は、南部のメコン川デルタを中心とした地域で活発に行われました。2001年時点の統計で輸出第3位（12.0%）を占めるほど成長した背景には、マングローブ林を養殖池へ転換するなどの開発がありましたが、同時に環境破壊も課題となりました。対照的に、選択肢にある鉄鋼や機械類が輸出の主力となるのは、さらに後の工業化が進んだ時期のことです。
問12	答え 2 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。	1980年には約181億ドルだった韓国の輸出総額は、2015年には約5267億ドルに達しており、急激な経済成長を遂げたことがわかります。内容を見ても、1980年に最大だった衣類のシェアは低下し、2015年には機械類が35.2%を占めるなど、産業の発展とともに輸出の柱が移り変わっています。船舶についても、1980年代には上位に入っていなかったものが、2015年には主要な輸出項目の一つとなっています。